

まちを知る 議会を知る

みのかも 市議会 だより

2023.2.1

No.192



令和4年市議会第4回定例会
補正後総額240億6,077万円の
一般会計補正予算案などを可決

主な内容

- ◆定例会の審議結果
議案クローズアップ・議会日誌
議会を傍聴しました…… 2～3P
- ◆委員会審査の概要…… 4～5P
- ◆市政一般に対する質問と答弁
…… 6～13P
- ◆活動ピックアップ・編集後記
お知らせ…… 14P

令和4年
第4回

定例会

令和4年11月28日に美濃加茂市議会第4回定例会が開会され、会期を12月16日までの19日間と決定しました。その後、2億5,076万1千円を増額する令和4年度美濃加茂市一般会計補正予算(第8号)を含む23案件(請願2件含む)を上程し、提案説明を行いました。そのうち、美濃加茂市固定資産評価審査委員会の委員の選任について(議第79号)は、質疑、採決まで行い散会しました。

第19日目(最終日)は、初日に採決した1議案と請願の1案件を除く21議案について、各常任委員会の委員長報告の後、討論(賛成)、採決を行いました。請第4号については、文教民生常任委員長からの申し出により継続審査とすることとし、定例会を閉会しました。

議案 クローズアップ

議第59号

美濃加茂市手数料の特例に関する条例について



【概要】

住民票の写し等の証明書については、利用者証明用電子証明書が搭載されたマイナンバーカードを使用し、コンビニエンスストア等で設置されている多機能端末機(マルチコピー機)により、交付申請することができます。

コンビニエンスストア等で取得する証明書の交付手数料を令和5年2月1日から令和6年3月31日までの期間に限り10円とするものです。対象となる証明書は次のとおりです。

【多機能端末機(マルチコピー機)で申請した場合】

- 減額期間 令和5年2月1日(水)～令和6年3月31日(日)
- 交付手数料 = 10円

証明書の種類	交付日時
住民票の写し	毎日 午前6時30分～午後11時 ※年末年始やメンテナンス時などを除く
印鑑登録証明書	
所得証明書	
所得・課税証明書	平日 午前9時～午後5時 ※年末年始やメンテナンス時などを除く
戸籍の附票の写し	
戸籍全部事項証明書(戸籍謄本)	
戸籍個人事項証明書(戸籍抄本)	

議会日誌 (主なもの)

11月 1日	美濃加茂市議会議員OB会役員会	12月21日	議会だより編集委員会
2日	議会運営委員会	26日	可茂地域一部事務組合議会 定例会
3日	美濃加茂市功労者表彰式		消防団年末夜警出動式
4日	地方自治連絡協議会	1月 4日	市職員仕事始め式
9日	中濃十市議会議長会議員研修会	7日	消防出初式
11日	可茂地域市町村議会議長会議員研修会		新春消防友の会
20日	ダボ逍遙園20周年記念式典		青年会議所式典
24日	議会運営委員会	8日	2023みのかも成人式
	議会改革特別委員会	12日	議会だより編集委員会
25日	美濃加茂市議会議員OB会総会		議会改革特別委員会
26日	子どもをたくましく育てるつどい	13日	商工会議所賀詞交換会
27日	民生委員、児童委員及び主任児童委員退任式・辞令書交付伝達式	18日	議会だより編集委員会
28日	美濃加茂市議会第4回定例会(～12月16日)	26日	可茂地域町村行政懇話会
	美濃加茂市・富加町中学校組合議会 定例会	27日	中濃十市議会議長会議員研修会
30日	中濃法人会美濃加茂支部要望	31日	議会運営委員会

定例会の審議結果

議案の審議結果

全会一致で可決された議案

議案番号	議案名	主な内容
議第59号	美濃加茂市手数料の特例に関する条例について	コンビニ交付サービスにより取得する住民票の写し等の証明書の交付に係る手数料の特例を定めるもの
議第60号	定年引上げに伴う関係条例の整備に関する条例について	地方公務員法の一部改正による定年引上げに係る所要の改正を行うもの
議第61号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	地方公務員法の一部改正による定年前再任用短時間勤務制の導入に係る所要の改正を行うもの
議第62号	美濃加茂市職員の分限に関する条例の一部を改正する条例について	定年引上げに伴い、職員の分限のうち降給について所要の改正を行うもの
議第63号	美濃加茂市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例について	学校給食食物アレルギー対応方針策定委員会を追加するもの
議第64号	美濃加茂市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	地方公務員法の一部改正による定年引上げに係る所要の改正を行うもの また、人事院勧告に基づき、民間給与との格差を解消するため、給料表の水準を引き上げ、勤勉手当の支給月数を引き上げる改正を行うもの
議第65号	美濃加茂市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	人事院勧告に基づき、民間給与との格差を解消するため、給料表の水準を引き上げ、期末手当の支給月数を引き上げる改正を行うもの
議第66号	美濃加茂市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	人事院勧告に準じ、民間給与との格差を解消するため、期末手当を引き上げるもの
議第67号	美濃加茂市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	人事院勧告に準じ、民間給与との格差を解消するため、期末手当を引き上げるもの
議第68号	美濃加茂市税条例等の一部を改正する条例について	市税等の督促手数料を廃止し、督促状の発付期限を30日に延長するもの
議第69号	美濃加茂市障害者支援施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例について	美濃加茂市障害者支援施設ひまわりの家について令和6年4月1日から民営化するため、条例を廃止するもの
議第70号	令和4年度美濃加茂市一般会計補正予算(第8号)	2億5,076万1千円の増額、予算総額は240億6,077万円
議第71号	令和4年度美濃加茂市介護保険会計補正予算(第2号)	599万円の増額、予算総額は41億5,026万円
議第72号	令和4年度美濃加茂市水道事業会計補正予算(第1号)	2,520万円の増額、16億5,612万4千円
議第73号	令和4年度美濃加茂市下水道事業会計補正予算(第1号)	2,500万円の増額、22億8,993万9千円
議第74号	指定管理者の指定について(中之島公園)	中之島公園の指定管理者を指定するため、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を求めるもの
議第75号	市道路線の廃止について	市道信友267号線外3路線の廃止
議第76号	市道路線の認定について	市道西町529号線外2路線の認定
議第77号	美濃加茂市と坂祝町の定住自立圏形成協定を変更することについて	美濃加茂市と坂祝町の定住自立圏形成協定を変更するため、美濃加茂市議会の議決すべき事件に関する条例第2条第2号の規定により、議会の議決を求めるもの
議第78号	美濃加茂市と八百津町の定住自立圏形成協定を変更することについて	美濃加茂市と八百津町の定住自立圏形成協定を変更するため、美濃加茂市議会の議決すべき事件に関する条例第2条第2号の規定により、議会の議決を求めるもの
議第79号	美濃加茂市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	任期満了に伴う後任委員の選任同意(小林喜典氏 再任)

その他の議案

議案番号	議案名 主な内容	議決結果	議員名															
			谷本梓	亀井滋昭	高井実枝	額源太	渡邊一子	田口智子	永田徳男	坂井文好	岸一夫	渡辺孝男	村瀬正樹	金井文敏	柘植宏一	森弓子	森厚夫	山田栄
請第4号	不登校児童生徒に対して多様な学習機会確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書の採択を求める請願について	継続審査																
請第5号	日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書採択についての請願について	趣旨採択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※請第5号は、委員会の趣旨採択とした審査報告に対する賛否。

議会を傍聴しました

今回の定例会を傍聴された方からいただいた主なご意見を掲載します。

- ・新しい議員さんにとっては、初めての一般質問でした。質問事項の内容をしっかりと聞かせていただきました。高齢者のための、あい愛バスや子供たちに大切な教育問題、さらに市からの情報のあり方などの質問が良かった。
- ・今回は子育て支援について興味を持ちました。学校教育問題を含めて市にとっても大変重要課題であること、議会を通じて感じました。
- ・市議選が無投票で決まったため、各議員の考え方を知りたくて傍聴に来ました。市民のために頑張っていただきたいです。
- ・請第5号が採択されなかったこと、とても残念です。今、世界中が核兵器の危機にさらされています。今こそ地方自治体からも核兵器を作ることも、使うことも決してあってはならないと政府に対して声を上げてほしいです。

委員会審査の概要

本会議で付託された議案について、各常任委員会にて詳細を審査しました。

※《 》は議案名、◆は主な内容、()は補正金額

文教民生常任委員会

《市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例について、今回設置される学校給食食物アレルギー対応方針策定委員会の進め方について》

問 今回設置される学校給食食物アレルギー対応方針策定委員会の進め方は。

答 まずは、加茂医師会や関係行政機関などに委員の推薦を依頼し、委員会のメンバーを固める。年度内に1回目の委員会が開催できるよう準備を進め、諮問それから答申とスピード感をもって進めていきたい。また、策定委員会から答申を受けた内容については、上位組織である運営委員会に諮る流れであり、毎年7月と2月に開催されるため、最速で7月の委員会に諮ることができるが、遅くとも2月の委員会には間に合わせたい。

問 策定委員会で決定した内容はどのように周知、反映されるのか。

答 学校現場から養護教諭にも委員会に入っただき、養護教諭の部会を通じて現場の担任の先生などに情報を共有する体制を整えていきたい。また、給食センターからは栄養教諭に委員会に入っただき、調理現場の声を考慮しながら実情にあった対応方針を策定していきたい。



《市障害者支援施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例について》

問 建物を譲渡する前に修繕する予定はあるのか。

答 修繕が必要となる箇所については、修繕してから譲渡する形になり、費用については来年度の予算に要求している。

問 土地の貸付期間が15年とあるが、貸付期間経過後の詳細は。

答 15年経過する前に貸付先と協議し、事業を継続するのであれば継続して土地を貸付ける予定である。事業を継続しないのであれば、貸付先の自費で建物を壊し更地にしてから市へ返還していただく形となる。

問 貸付期間中に起きた事故等の責任の所在は。

答 土地については市であるが、建物や事業の運営に関するものは、民間事業者が責任を負う形になる。



ひまわりの家

《令和4年度市一般会計補正予算(第8号)》

◆医療機関・福祉施設等電気料金支援給付金(700万円)

問 事業の詳細は。

答 対象施設はデイサービスや老人介護施設等が対象となり、給付金については、支払明細書などを提出していただき、上限額を定めて交付する予定である。

◆小学校施設営繕工事(4,700万円)

問 改修後の耐用年数は。

答 今回の改修ではプール層の塗装ではなくゴムシートのようなものを張り付ける工法を考えている。塗装であれば耐用年数は10年ほどであるが、ゴムシートを張り付ける工法の方が少しだけ耐用年数が伸びると聞いており、費用面に大差はない。

問 小学校間でのプールシェアの考えは。

答 拠点校方式は全国の調査結果では1割程度検討されているが、本市はまだ具体的な議論は進んでいない。今後、民間委託、学校プールの併用を試行して将来を見据えるなかで、一つの選択肢としてしっかりと検討していく。

=====**委員会審査の概要**=====

《日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書採択についての請願について》

● **主な賛成意見**

日本では77年前に広島、長崎に原爆が投下され、何十万人という犠牲者を出した。また、助かった人も原爆症に苦しみ、現在も被爆2世、3世と影響が続いており、二度とこのようなことが起きてはならない。今年2月24日からロシアのウクライナ侵攻が始まったが、プーチン大統領は外部からの邪魔を試みるものには核兵器の使用を辞さない構えを示唆するなど核兵器を脅しの材料としている。世界から核兵器を排除するためにも条約に署名・批准するべきである。

● **主な反対意見**

核兵器や戦争などないほうがいいと考えるが理想論だけで共感することはできない。現実、日本においても隣国が攻めてこないという保証はどこにもないが、アメリカとの関係性にて守られている。また、我が国は唯一の被爆国として、先頭に立ち核保有国と非保有国との橋渡しする役割を果たしていかなければならない。

各委員から意見が出された後、本請願全てを採択するものではなく、願意を採択する旨の発言に基づき採決した結果、趣旨採択すべきものと賛成多数で決する。

問 **マルチコピー機の設置状況は。**

答 主要なコンビニエンスストアや、大規模商業施設、美濃加茂市役所本庁舎にも1台設置している。コンビニエンスストアにおいては、年末年始、メンテナンスの日以外は、午前6時30分から午後11時までの間で証明書が取得できる。



本庁1階のマルチコピー機

問 **本年度中の証明書のコンビニ交付の実績は。**

答 令和3年度の実績は、7,300枚程度となっている。令和4年度は順調に件数が伸びているものの、想定数を下回っている。

問 **手数料を10円にすることで収入への影響は。**

答 収入の影響額については、今年度、2月、3月で約20万円、令和5年度については、約300万円の収入減になると予測している。

● **企画建設常任委員会** ●

《市手数料の特例に関する条例について》

問 **マイナンバーカードの普及率の目標は何%か。**

答 美濃加茂市では、現在50%を少し超えている状況である。令和5年度末までには70%を目指したい。

問 **70%の目標に至らなかった場合の普及促進策は。**

答 目標の70%に至らなかった場合には、令和6年3月末までとしている証明交付手数料10円の継続、それ以外のことも検討し、普及促進に努めていきたい。



本庁1階にあるマイナンバー窓口の様子

議案や条例案の概要は、下記からご覧になることができます。

■ **美濃加茂市議会ホームページ**

<http://gikai.city.minokamo.gifu.jp>

■ **閲覧方法**

- ▶ **トップページ**
- ▶ **本会議日程と議案**
- ▶ **令和4年 第4回定例会**



市政一般に対する質問と答弁

15人の議員が登壇し、市政全般に対して、事業の執行状況や将来の方針などについて質問を行いました。
(掲載順は質問を行った順番)

掲載する内容は、各議員が行った質問と答弁の一部を要約したもので、議員から提出された原文を尊重して掲載しています。ご不明な点は、各議員にお尋ねください。

また、全ての質問と答弁は、「美濃加茂市議会 議会中継」にて配信していますので、こちらをご覧ください。

なお、議会の公式な記録は、後日公開される会議録にてご確認ください。



渡辺孝男議長

美濃加茂市議会 議会中継

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/minokamo/WebView/rd/council.html>



視聴方法

[トップページ](#)

[会議名一覧](#)

[令和4年第4回定例会](#)

[12月7日・8日 一般質問](#)

会議録検索システム

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/minokamo/SpTop.html>

美濃加茂市議会 議会中継

検索

議会中継



金井文敏 議員

加齢に伴う難聴に悩む高齢者支援について

問 難聴と認知機能低下についての見解は。

答 難聴については、国が定める認知症施策推進総合戦略でも、高血圧、糖尿病等とともに、認知症の危険因子になり得るとされている。

また、難聴によるコミュニケーション機会の減少や、音の情報自体が入ってこないため、脳の活動そのものが低下すると言われており、難聴が認知機能の低下に影響を与えることは十分に考えられる。

問 補聴器購入の負担軽減策についての見解は。

答 次年度に策定を予定している高齢者福祉計画及び介護保険事業計画にあわせて、今年度実施予定のアンケートに補聴器に関する項目を盛り込む予定であり、今後も市民ニーズ等の現状把握に努める。

また、国や県等の動向を注視しながら、他市町村の事例も参考に効果的な支援のあり方について調査研究を進めていく。

不登校児童生徒に寄り添い安心な居場所をつくるためのフリースクールの開設について

問 不登校児童生徒の居場所についての見解は。

答 児童生徒が、過度なストレスを感じない安心して落ち着ける場所であることや児童生徒のペースで個別の学習支援や相談支援を行うことができる場所であることが必要である。

問 フリースクールについての見解は。

答 不登校の背景や要因は多岐に渡り、個々の児童生徒の状況も多様である。それぞれの状況に応じ、様々な支援が可能となるような多様な学習機会・教育機会の確保が必要であり、その中の一つとして、フリースクール等民間施設団体も対象とされている。

今後は学校、教育委員会、教育支援センター等の公的機関とフリースクール等の民間施設が連携努力することが重要であると考えている。



≡≡≡ **市政一般に対する質問と答弁** ≡≡≡



高井実枝 議員

コミュニティスクールについて

問 関係部局との連携は。

答 「地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくり」を進めるため、人材や機会の紹介、地域イベントへの参加、まちづくり協議会との連携などを進めていく予定である。

小中学校の水泳授業について

問 水泳授業実施の見通しは。

答 来年度は学校プールの使用と民間水泳施設への委託を併用し、全小中学校で実施できる環境を整える。

市の情報発信について

問 各課が担当し発信している情報媒体の把握状況について伺う。

答 効果的な情報発信を行うため現況調査を実施し、各課が事業ごとに直接的な発信を行っている。市の発信としては広報紙、ホームページ、メール配

信、SNSツールで行っている。今後、情報戦略を立て、市のコンテンツを積極的に発信出来るよう検討していく。

あい愛バスについて

問 アンケート調査の結果はいつ公表されるか。

答 14歳から86歳までの365人から回答があり、年明けに公表を予定している。

問 現在の利用状況は。

答 令和3年度の利用者数は106,927人で今年度も過去最高の利用者数が見込まれる。

問 今後のあい愛バスについて、地域循環型や使用目的特化型などの導入について考えはあるか。

答 多様なニーズに対応するため、より利便性を高め、地域内移動の不便さ改善に向けた「AIオンデマンドバス」の可能性、費用面も含めて研究していく予定である。



あい愛バス



永田徳男 議員

空家対策について

問 新たな「美濃加茂市空家等対策計画」の、前回との違いは。

答 平成29年度に制定した、第1期計画では、空家等対策の基本的な事項の把握と主に危険な老朽空家をいかに除却するかという点に重点を置いたが、今回の第2期計画では、従来の老朽空家対策に加えて、空き家にならないための適正な管理、利活用などにつながる方策を示した。



第2期美濃加茂市空家対策計画

問 市独自の条例の制定作成についての考えは。

答 当市では、空家に対する対応は所有者の責任で行うことを基本としており、現在は条例の制定の予定はない。今後の国や県の動向を注視し必要性に応じて検討をしたいと考えている。これからは、より一歩踏み込んだ出張相談会、リモートによる毎月の相談会、専門家によるセミナーなどをとおして、より多くの市民の皆様へ周知したい。

投票所について

問 移動期日前投票所についての見解は。

答 投票環境における利便性向上の方策であり、選挙人の投票行動を促すうえにおいて有効な手段の一つであると考えられるが、執行の際には、車両やパソコンなど資機材や人員確保が必要で、限られた期間に巡回移動するため、1箇所での滞在時間も限定されると考えられる。

現在本市では、期日前投票所を市内8地区の行政区に設けており、県下の市町村において最も充実した形態となっていることから、移動期日前投票所については、現在のところ予定していないが、調査研究を継続していきたい。

市政一般に対する質問と答弁



瀬瀬源太 議員

国民健康保険の運営について

問 政令に基づく保険料の減免世帯数は、国保世帯の何パーセントか。

答 合計3,628世帯で、国民健康保険加入世帯の57.6%である。

問 中学生までの医療費無料の対象者は常に無料で保険治療を受けているか。

答 被保険者の窓口での負担はない。助成制度に基づき医療費は全額無償である。

とくとく先得みのかも応援チケットについて

問 抽選の結果、事業の恩恵を受けない市民が生じるが公共事業として不公平では。

答 コロナ禍における市内事業者への経済支援を主目的としている。今までのチケット事業は先着順の為、ある店舗においては購入の機会を得る事も困難であった。今回は抽選方式となり、申込に対して平等であると考えている。

問 市内に在勤、在学する市外居住者を対象とした理由は。

答 市内店舗において、実際に消費行動をおこされることを想定した。

問 市外居住者が重複してサービスを受けることになり不公平ではないか。チケットに有効期限は不要では。

答 取扱店舗の会計処理の都合等もあり、来年10月までとした。

あい愛バスの運行について

問 高齢者に運転免許返納後の公共交通の在り方について意向調査を行ったか。

答 運転免許証返納後の、公共交通利用に関する意向調査は行っていない。ニーズ調査の中で、「75歳を過ぎても運転する意向がある」が半数を超えた。

問 後期高齢者に照準を当てた利用しやすいオンデマンドなど柔軟な公共交通が必要では。

答 地域内移動の不便さの改善に向けた「AIオンデマンドバス」の可能性など、先進的な技術を活用した運行システムを導入することで、多様化する利用者の移動ニーズに対し、いかに効果的に対応できるか、費用面も含め考えている。



山田 栄 議員

市議会議員選挙について

問 無投票選挙になれば美濃加茂市議会議員の立候補者の公約等の情報を市民が得る機会が失われる。事前審査方式を続けるなら告示前に選挙公報を作り開示することは可能と考えるが、選挙公報の改善についての所見は。

答 選挙公報は、選挙管理委員会が発行する、候補者の経歴や政見などが掲載されているもので、市議会議員選挙については、公職選挙法に基づいた「美濃加茂市議会議員及び美濃加茂市長の選挙における選挙公報の発行に関する条例」により、候補者等が告示日に掲載文を申請することになっている。

また、公職選挙法第171条の規定により、無投票になった場合は、選挙公報発行の手続きは、中止するとされている。こうしたことから、現状では、選挙の告示前に、選挙公報を発行することはできない仕組みになっている。

しかしながら、選挙公報は、選挙人が立候補者の

情報を得る重要な媒体の一つであると考えているため、選挙管理委員会としては、事務の迅速化を図り、期日前投票期間中の早い時期に配布を完了できるようにするとともに、できる限り迅速に市ホームページに掲載し、選挙人が投票する際の判断材料になるよう、引き続き取り組んでいきたい。

美濃加茂市地域強靱化計画について

問 美濃加茂市地域強靱化計画の初期対応避難所のトイレ、井戸、老朽化した施設の今後の整備計画は。

答 初期対応避難所は、生涯学習センターと総合福祉会館の2か所があり、生涯学習センターのトイレは26カ所中18カ所が洋式化され、総合福祉会館は28カ所中19カ所が洋式化されているので、十分な機能があると判断している。

井戸に関しては、両施設に設置しているが、大規模な地震等で停電の場合は使用できない。老朽化した施設整備は公共施設等総合管理計画に基づき実施していく。

市政一般に対する質問と答弁



岸 一夫 議員

交通安全について

問 高齢者ドライバーの免許返納について、タクシー割引券等の補助の考えは。

答 高齢化が進み、運転免許証を返納する方が増えてきている中で、平成28年3月25日よりタクシー会社独自の取組として、65歳以上の運転免許証を自主返納した方に対し、運賃を1割引するサービスが行われている。この制度を利用する方は、運転経歴証明書の提示が必要である。

市独自の取組として、65歳以上で運転免許証を自主返納された方は、あい愛バスの運賃が無料となっているので、新たにタクシー割引券等の補助を行う考えはない。

問 あい愛バスの65歳以上の高齢者無料化等の考えは。

答 基本的に税金によって運行しているコミュニティバスなので、バスを利用しない市民の方など、全体的な理解を得られるよう受益者負担として運賃

は頂くべきと考える。よって現段階では、すべての65歳以上の方を無料とすることは考えていない。

問 市道新田柳下線の中蜂屋橋の拡幅の考えは。

答 市道新田柳下線と国道418号線の交差点付近の蜂屋川に架かる中蜂屋橋は、昭和48年に建設された橋梁である。橋梁幅員は5.2mで車両のすれ違いが困難であるため、この信号機のある交差点では、中蜂屋橋の南側が停車位置となっている。

車両通行される方には不便をかけているが、現在は橋梁の付け替え及び拡幅は考えていない。今後の交通動向を注視して維持管理に努めていく。



中蜂屋橋のある交差点



田口智子 議員

子育て支援について

問 18歳まで医療費を無償化する考えとその後の調査・研究は。

答 全国的にも多くの自治体が医療費の無償化について、18歳まで拡充していることは把握しており、本市においても子育て支援策の充実が重要な課題であることは十分理解している。

こうした状況下の限られた予算の中で、どの事業を優先的に推進すべきか今後も関係部署で協議を積み重ねながら、議員の皆様とも十分な協議をさせていただきたい。

問 無償化のための財源として、ふるさと納税の活用は。

答 無償化を18歳まで拡充した場合の財源は扶助費として、約5,000万円が必要であると試算している。現在の制度ではこの金額は市の単独での予算確保が必要になる。

問 懸念される過剰受診対策として、償還払いと

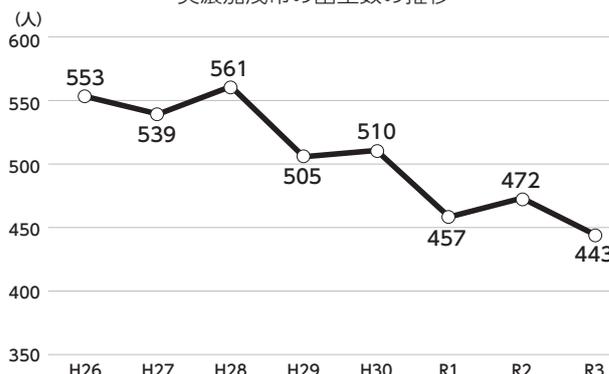
してはどうか。

答 各家庭で医療費を一旦ご負担いただいた上で、医療費助成の制度を活用していただくことは受診内容を見直す良いきっかけになるのではないかと考える。今後、具体的に検討を進める際に参考にさせていただきたい。

問 無償化の段階的な進め方、まずは入院費だけでも18歳まで無償化する考えは。

答 入院費の助成から段階的に進めていくことについては、全国的にも1割近い自治体を実施していることから、市民ニーズと財政面の課題をバランスよく解決していく方法として前向きに検討していきたい。

美濃加茂市の出生数の推移





森 弓子 議員

公共施設整備計画について

問 今まで分散型の庁舎を進めてきたが、今後の方針は。

答 今回の市民アンケートにおいて「分庁舎や保健センターなど窓口が離れていて不便」を選択された回答が最も多い結果となったことを踏まえ、今後、協議を重ねながら方針を定める必要があると考えている。

問 下米田保育園の建替えについて地元説明会があった。保育園の建替えを先行したとしても、隣接する下米田交流センターも老朽化しているため、駐車場の共有など全体的な構想が必要と考えるがどうか。

答 都市計画マスタープランの「コンパクト＋ネットワーク＆サテライト」の「サテライト拠点」を充実していくためには、今後、保育園とともに、交流センター等の整備についても「全体的な構想」は必要であると考えている。

ふるさと納税推進・提案について

問 ふるさと納税獲得のため、市民の方から市外の方におすすめハガキを送ってはどうか。

答 市外にお住まいの方に対して、本市のふるさと納税を勧めていただけることは大変ありがたいことなので、各種機会において重ねて依頼していく。

問 子ども達へのAI・プログラミング等の未来投資の増額を。

答 学校現場においては、GIGAスクール構想によって整備した一人一台パソコンを活用し、プログラミング教育にも取り組んでいる。ひとづくり課では、小学生から高校生までを対象とした、ICT技術の向上を目指す講座や、AIなどの先端技術が学べる機会を設けて、もっと学びたいという希望に応えていきたい。

問 移住者に対する古民家のトイレ、浴室の修繕補助制度の創設を。

答 移住対策においては、中山間地域の「コミュニティの活性化」にしっかりと関わっていただける移住者を求めている。古民家の改修補助金は有効であると考え、今後協議を進めたい。



村瀬正樹 議員

小中学校の水泳授業に関する、自校プールの5校と民間委託試行6校の比較について

問 行政側から見た予算や制度等でのメリット・デメリットは。

答 水泳授業を学校のプールで安全に実施するためには、改修を行う年度で、多額の事業費が必要となる反面、通常の年度は水道料金や、ろ過機の保守など、数十万円程度の維持管理費で運用が可能となる。

整備の内容等によるが、国庫補助金などを活用できる場合があるので、これはメリットのひとつと考えている。一方、民間水泳施設に委託を行う場合は、市の財政負担の平準化が図れるという点で、メリットがあると考えている。一方では、現在のところ委託を行う場合の事業費に充当できる特定財源が見当たらないので、これは運用におけるデメリットと考えられる。

問 児童生徒、教師側から見た移動、授業内容、実施時間等でのメリット・デメリットは。

答 民間水泳施設を使用する場合は、移動時間が片

道10分程度となるように実施場所を調整すること、着替えの時間が半分に減ることで、実際にプールで水に触れる時間は、学校プールでの実施と同程度になるよう計画している。

なお、民間水泳施設は屋内プールのため、授業の実施は天候に左右されないが、学校プールは屋外のため天候による中止等が考えられる。

専門のインストラクターに教員の授業をサポートしていただけることが、児童生徒における一番大きなメリットになるとも考えている。

民間委託で実施したとき、教員の業務負担の軽減というメリットが考えられるが、一方ではプール設備の適正な管理について、経験する機会を失うことはデメリットとして考えられる。

問 試行後の方向性は。

答 教育委員会としては、児童生徒が確かな泳力を身につけることを大切に考え、将来的に安定して水泳授業が実施できる環境を確保していくために、メリット・デメリットはもちろんのこと、さまざまな将来予測をしながら、中長期的な水泳授業の実施方針について検討していきたいと考えている。

市政一般に対する質問と答弁



柘植宏一 議員

新庁舎整備について

問 市民アンケート調査の「市街地再開発同時進行」に対する回答の捉え方は。

答 旧基本計画では、新庁舎整備事業と市街地再開発事業との連携を図り、両事業の相乗効果を期待するために、同時に進めることを計画していたが、市民への説明不足や情報提供不足により、市街地再開発事業の目的や内容、両事業を同時進行する場合の課題や、その解決方法などが明確に伝わらなかった。

現在、情報整理部会において、関連する5つの事業計画、「市街地再開発事業」「都市計画マスタープラン」「立地適正化計画」「公共施設等総合管理計画」「地域防災計画」の課題を取りまとめており、今年度中に検証の結果と併せて、今後の進め方となる「新庁舎整備ロードマップ」として示せるよう進めていきたい。

問 市街地再開発事業の進捗状況と今後の見通しは。

答 昨年12月に設立された準備組合では、参加組

合員となる予定の事業協力者との協定締結に向けた手続などが進められており、今後、事業協力者からの提案なども踏まえながら、事業計画案の検討が進められていく。

職員副業制度の創設について

問 部活動の地域移行等を含め、職員の公益的事業への就労を推進するための制度創設は。

答 職員の地域貢献活動等を促進していくため、公共性のある組織等で、報酬を得て副業等に就きやすくするための新たな許可基準の策定を進めていく。

通学路の安全確保について

問 あじさい保育園の進入車対策は。

答 国道21号に左折専用車線を設置することは、側道との交差点構造が安全ではないため、現在の道路形態となった。

側道については、児童の安全確保も踏まえ、今後も安全対策について関係機関と連携して取り組んでいく。



亀井滋昭 議員

消防団について

問 令和4年第1回定例会一般質問から「消防団のあり方の取組について」の現況は。

答 今年度は、可茂消防事務組合中消防署職員による火災現場での、安全を確保するための行動について研修を行った。また、新入団員を中心とした放水訓練、急激な高低差がある場所での消火訓練も実施した。消防団活動を広く市民に知っていただくため、消防団インスタグラム等を活用し情報を発信するとともに、県と連携して消防団員「アリガト」キャンペーンを実施した。

問 団員の確保が困難である理由についての現状把握は。

答 消防団への入団を断られる理由として、消防団活動で多くの時間が拘束されることに対し、勤務先や家族からの理解が得られないなどの意見があることは把握している。

問 操法大会及び行事やイベントの負担軽減につ

いての検討は。

答 操法大会や消防団行事は、消防団員として必要な技術の習得や、組織の団結力向上などの目的がある。市民はもとより、消防団員の生命の危険もある火災・災害現場において、指揮命令のもと、集団で行動するために必要となるスキルをどう培っていくのか、消防団員の負担軽減とバランスを取りながら見直しを検討していく。

問 道路交通法改正に伴う消防車両の対策は。

答 道路交通法の改正を受けて、当市においても、次回の車両更新から3.5トン未満の消防ポンプ車へ更新を行っていく予定である。

問 持続可能な組織づくりを目指していただきたいと思うが、見解は。

答 団員の負担軽減とのバランスを図りながら見直しを検討している。

また、古いマイナスイメージを払拭し、現在の消防団を理解していただくためにも、情報発信に力を入れていくことが必要であると考えている。

市政一般に対する質問と答弁



渡邊一子 議員

再審請求について

問 今現在の進行状況は。市政への影響はないのか。

答 再審請求書を裁判所に提出し、判断を待っている状況である。再審請求に対する判断が下されるなど、新たな動きがあった場合にはきちんと説明する機会を設ける。また、市長として職務に影響はない。

問 姉妹都市ダボの逍遙園20周年記念式典に招待され、団長として出席する予定と聞いていたが、行くことができなかったのは何故か。

答 有罪判決が今回の渡航に対するビザに影響した。手続きに時間を要することを把握しきれておらず落ち度があった。今後、姉妹都市ダボとの関係を良好にしていくために努力する。

新庁舎整備について

問 市の公共施設は老朽化が進んでいるが、新庁舎整備を最優先に取り組んでいく認識で良いのか。

答 庁舎は耐震改修工事を行っているが、大規模災

害時には、施設の機能を維持することは困難だと思われるため、優先的に検討・対処すべき公共施設と位置付けている。また、新庁舎の整備を行うことで、他の公共施設をないがしろにせず、市全体の調整及び財政的な負担も視野に入れながら進めていく。

小中学校の給食アレルギー対応及び
コロナ禍の給食時間制限について

問 児童生徒の皆さんの食物アレルギーの状況をどのように把握しているのか。

答 次年度に在学する全ての児童生徒に、3学期に食物アレルギー調査票を配布し、食物アレルギーの原因物質の有無や症状の程度など、あらためて記載をし、学校に提出していただくことで毎年情報の更新をしている。また、次年度の小学校新1年生は、毎年秋に実施する就学時健診時に食物アレルギー調査票を配布し、在校生と同様に情報として把握できるように努めている。

問 新型コロナウイルス対策による給食時間への影響はあるか。

答 給食時間については、コロナ前の時間と変化はない。コロナ前との変化としては、感染予防の徹底として配膳方法を工夫していることである。



森 厚夫 議員

新庁舎建設について

問 新庁舎整備市民アンケートの配布数、回収数は。

答 今年の7月22日から8月12日までを調査期間とし、満15歳以上の市民4,000人を対象に実施した。その結果、回収率45.2%となり、1,809人からの回答であった。

問 新庁舎整備について知った媒体は。

答 「広報みのかも」63.7%、「その他」19.8%、「新聞」5.0%、「市ホームページ」4.2%、「SNS」3.8%の回答であった。

問 美濃太田駅周辺整備地への賛否の年代別、居住地域別は。

答 「反対」40.8%、「判断できなかった」31.7%、「賛成」26.8%であった。年代別は60歳代・70歳代では「反対」が過半数を占め、「賛成」との差が約30%と大きく乖離した。30歳代から50歳代では、「判断できなかった」が高くなっており、「反対」は「賛成」を上回っていた。居住地域別の結果は、三和地区では

「賛成」が「反対」を上回っているが、その他の地域では「反対」が「賛成」を上回っており、山之上地区・蜂屋地区では約30%と大きく開いた結果であった。

問 新庁舎整備において大切にすべき点は。

答 「地域防災拠点」63.2%、「市民活動拠点」52.7%、「バリアフリー」40.1%という結果であった。

問 新庁舎の建設エリアで重要視する内容は。

答 「防災面の安全」58.0%、「駐車場の確保」53.5%、「集いやすさ」37.0%、「費用抑制」36.9%という結果であった。

問 市役所職員アンケートの配布数、回収数は。

答 正規職員359人、会計年度任用職員159人の計518人を対象に実施。回収率70.3%の364人からの回答であった。

問 市役所職員アンケートでの新庁舎建設エリアで重要視する内容は。

答 「防災面の安全」57.1%、「駐車場の確保」51.9%であった。

問 アンケート結果検証後のスケジュールは。

答 検証結果とあわせ、「新庁舎整備ロードマップ」を示せるよう進めていきたい。

≡≡≡ **市政一般に対する質問と答弁** ≡≡≡



坂井文好 議員

とくとく先得みのかも応援チケットについて

問 申込状況はどうであるか。

答 申込みは約19万4千シートで、購入可能なシートは約6万7千シートである。11月29日現在、交換されたシートは、購入可能シートの約65%、4万3千シート程度である。前回は約5万シートを販売した。

問 事業実施による経済効果と市民や店舗等の評価は。また、今後の物価高騰対策の考えは。

答 購入可能なシートがすべて購入された場合は、およそ3億3千万円から3億5千万円が直接的な経済効果として見込まれる。店舗からは、これまでの事業と比較して購入者名簿の作成や購入者ごとの枚数管理など事務負担が減った一方で、店頭でお客様が商品を購入される際に合わせてチケット購入を促す機会が失われたなどのご意見をいただいている。

購入者からは、スマホなどを利用したWEB申請は好評であった。店舗で引換券と引き換えによるチケットの購入も必要となり、スマホなどですべての

手続きを終えたいという希望もあった。

今回の応援チケット事業は、市内事業者への経済支援を主目的に実施したもので、物価の高騰による市民生活への支援を主目的とした事業については、国や県の施策ともあわせて総合的に効果的な方法が検討されるものと考えている。

農業ビジョンの具体化について

問 耕作放棄地の有効利用として営農型太陽光パネルの設置が進められているが、市の見解は。

答 営農型太陽光発電設備については、優良農地内であっても、近隣の営農状況に支障が生じない等の条件に適合した場合には、その設置が許可されることとなる。営農型太陽光発電設備の下部での生育が可能な農作物の担い手による営農が再開されることは、耕作放棄地の有効な解消手段であると考えている。また、先月農業委員会で、営農型太陽光発電施設の視察を行ったが、「耕作放棄されて荒れるよりはいいのではないか」というような意見がある一方、太陽光発電は「ここ10年ほどで発展してきたものであり、今後が心配」といった声もあり、課題を整理しながら考えていきたい。



谷本 梓 議員

令和5年度基本方針にある「興す」について

問 市民や企業と市の協働で進めていくのか、市民や企業が独立して活動していくことを市がサポートしていくのか。

答 市民や企業の方々が、自ら考え、自ら運営するイベントや取組が増えてきていると感じている。そうした取組や人とのつながりをもっと増やしていくことが、まちの元気や健康につながっていくと考える。

主催者から、イベントの広報に苦慮していると聞いており、市の事業や方針に沿っているものと判断される市民や企業の方の企画やイベントに関しては、市の持つ広報媒体を活用して開催を周知するなど実施者の支援を行っていく。

美濃加茂市観光協会のTwitterについて

問 更新が2017年4月で止まっているが、更新をやめたのか。

答 Twitterについては平成24年に開設したものの、情報の更新がされていなかった。今後は、有効な情報発信のツールのひとつとしてFacebook、Instagramと連携して情報を発信されるよう観光協会に促していきたい。

問 市で担当が変わった場合の引継ぎやアカウントの保護の為にマニュアルはあるか。

答 観光協会に備え付けられたマニュアルを活用、更新しながら継続的な取組となるよう協会と連携していく。

こども食堂について

問 こども食堂の開設にあたり美濃加茂市としてどのような対応を行っているか。

答 こども食堂の開設にあたっては美濃加茂市社会福祉協議会が支援を行っており、市としてはその支援策の周知などを行っている。

美濃加茂市社会福祉協議会では、開設から運営までの相談支援、食材の確保・提供、利用者募集のチラシ作成、必要備品の貸し出し、運営スタッフを対象とした研修会の実施など、様々な場面での支援と「地域福祉活動助成交付要綱」に基づき金銭的な支援も行っている。

活動 ピックアップ

SDGsセミナー(3回目)を行いました

講師：澁澤寿一氏(渋沢栄一氏のひ孫)

テーマ：「持続可能な『まち』～豊かさ、幸せ～



美濃加茂市は、令和3年度に内閣府からSDGs未来都市(31自治体)及びSDGsモデル事業(10都市)の選定を受けました。

市議会としても、SDGsの知識を深め、その重要性や必要性を市民の皆様へ発信するため、昨年に引き続き、澁澤寿一氏を講師に招き勉強会を開催しました。

今後も調査・研究を重ね、持続可能なまちづくりを目指して議会活動に取り組んでいきます。



今月号から新たな編集委員が編集を行いました。

【議会だより編集委員】

委員長：坂井文好(中央左) 副委員長：田口智子(中央右)

委員：高井実枝、柘植宏一、山田 栄、永田徳男(左から)



次回の定例会の予定

令和5年市議会第1回定例会

2月22日(水) 初 日
3月 8日(水) 一般質問
9日(木) 一般質問
10日(金) 一般質問
13日(月) 質 疑
24日(金) 最 終 日

場所：市役所本庁舎3階 議場

時間：午前9時から(最終日は委員会終了後)

※日程は都合により変更となる場合があります。

詳細は議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

今年の干支「癸・卯(みずのと・う)」は、『寒気が緩み、萌芽を促す』を意味し、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になると言われています。

現在、国では、新型コロナウイルスの感染症法上の扱いを『2類相当』から、季節性インフルエンザ並みの『5類』へと見直す検討が進められています。ようやく感染症法上の取扱いについても議論が本格化し始めました。コロナの先にある、明るい未来に向かった挑戦です。

市議会だよりの編集も昨年10月より、新たなメンバーでスタートしました。市政一般や議会活動の中身を分かりやすく、そして読みやすい、愛される市議会だよりとなるよう一層努力してまいります。
坂井 文好

第4回定例会の議場装花



議場に飾られている花は、加茂農林高校園芸流通科の生徒さんに作っていただきました。

次回の議会だよりは、令和5年5月1日を予定しています。

ご意見ご感想は、市議会ホームページ(ご意見・アンケート)、はがき、ファックス、メールにてお寄せください。

